



▲よつ葉を分析中

6/2・23・7/14

マーケティングセミナー 開催

「よつ葉をもっと好きになってもらうために！」

3日間かけて行われた講座「お客さまから愛される生活者発想マーケティング入門」よつ葉をもっと好きになってもらうために！に参加しました。「お客さまから愛される」とか「好きになってもらう」なんて、今までのよつ葉では何となく使わずにきた表現で、講座のタイトルを聞いただけで目の前が眩しくなりました。

講師の和田さんは、もともと千趣会で通販カタログ制作に携わり、同社にて女性のライフスタイルや生活価値

観の調査・研究に従事されてきました。今回の講座は、基本的なマーケティング論をご説明いただいた後、よつ葉の現状を会員さんの声やラベリング企業の評価を見ながら客観的にとらえ、そこから「よつ葉の良いところ悪いところ」を洗い出すグループワークを行い、最終的に「よつ葉をもっと好きになってもらう」キャッチフレーズをみんなで考えようというものでした。

この一連の作業では、日々カタログ制作にあたり、ぼん

よつ葉のスタッフの 感覚の豊かさに感動しました



当組合では今、組合員さんの日々の仕事に役立ててもらおうと、実務に則した勉強会を計画、開催しています。今回は「マーケティングを学びたい」との声をものと、3日間にわたりマーケティングセミナーを開催しました。講師にお招きした和田康彦さんは、(株)千趣会で長く培われたノウハウを分かり易く惜しみなくお話しくださり、毎回、目からウロコの楽しい勉強会となりました。

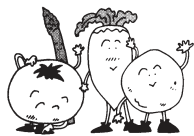
大阪府北部地震

非常にできる 非常時対策を始めました

6月18日7時58分、震度5強の揺れ—大阪府北部地震。上野デイハウスしもつきは通所介護施設(デイサービス)のため、この時間はスタッフも利用者さんもまだ在宅中でした。当日勤務のスタッフがいつも通りに揃い、利用者さんに安否確認の電話をしましたが、電話がかかりにくく困りました。デイの室内は食器が飛び出して破損し、ガスが供給停止になっていました。が、それ以上の大きなトラブルはありませんでした。安全優先のためその日は休業とし、スタッフも片付けを終え帰宅しました。

災害時には目に見える情報が重要と言われます。ガラケー携帯は停電時にもテレビを見ることができ、情報入手には最適なアイテムだそうですね。地震は予測できない災害の一つです。今回の経験から、車のガソリンはまず入手困難になる物の一つですので、マメに給油をする。そして携帯の充電も欠かさない、などすぐにできることから非常時対策を始めました。スタッフ全員が共有できるマニュアル作りも始めます。(上野デイハウスしもつき 西川明美)

心地よい空間と 喜びを提供できる ようになりたい



私が働くお店の一番の問題は、お客さまの高齢化です。社会においても随分前から少子高齢化が問題視され、2024年には4割が一人暮らし世代になると言われています。また、共働き家庭の増加など、私たちを取り巻く社会は常に変化しており、それに伴いお客さまの生活スタイルもニーズも変化してきています。このような時代でお客さまから求められるにはどうしたらよいか、悩んでいました。そんな中、和田さんのお話しは分かりやすく、マーケティングのことも全く分からないう私でしたが、楽しく受講することができました。今回受講したことで、私は

ことはただ物を売るだけではなく、よつ葉の商品の強みや弱みを理解し正しく商品の価値を伝えること、そしてお客さまの関心に少しでも近づくことが大事だと学びました。私はいつもお店にいて、つい視野が狭くなりがちですが、お店に関係あるないにかかわらずもつと外の世界に目を向け、いろいろな情報をもつて、お客さまに心地よい空間と喜びを提供できるようにしたいと思えました。(ふるさと広場 萩原台店 大川ゆかり)

やりととらえていたよつ葉の強み弱みを、ピントを合わせて観察することができ、今まで思っていたとおりのことあれば、思いがけない発見もあり、たくさん気づきがありました。また、最終日に一人ひとりが考えたキャッチフレーズはどれも個性的で斬新！どれも良い悪いという

ことよりも、いろいろな現場で活躍しているよつ葉のスタッフの感覚の豊かさに感動しました。

本当の「よつ葉」とは？ 日々の業務に追われて、思い込みで仕事をこなしていませんか？ そんなことも振り返ることのできた講座でした。(ひこばえ 和田玲美)



▲和田康彦先生

【リレーコラム】 政治と暮らし

6月18日、地震の時、私は電車の中で途中駅に着いたところでした。皆、駅舎から出され「どうすればいいの?」。電車が動かないと家にも戻れない。私はレンタサイクルを借りて家に帰りましたが、途中、屋根、外壁が剥がれ落ちた家を何軒も見ました。

地震後の7月1日、7日、8日、茨木市と高槻市で被災住宅の相談会が行われ、20件ほどを担当しました。相談内容はさまざまで、相談するこ

被災に対する補助金は 複雑かつ少額すぎるのでは

思うものが、市の判定では一部損壊。再度判定に来るとは言うものの、そのお宅に対する市からの説明を横で聞いていて、補助金は複雑すぎるし少額だと思いました。一部損壊の判定は幅が大きく、公的支援が受けられない。半壊判定でその家に住むとなれば、復旧工事費として約58万円が法的に支給されるが、後は自己資金でそちらの方がはるかに高額です。また約58万円を貰うと仮設住宅を申し込めなくなるなど、困って相談に来ているのに!

市では限界があります。国のトツプは「寄り添って」と口では言っていますが…。(見える家づくり集団 小峠敏幸)

《共同利用・相互協力をつよめよう》 《買う人が売る人に、売る人が買う人に》 《販売ルートの相互紹介で事業の拡大を》

脱原発・脱成長

関西よつ葉連絡会

(株)よつ葉ホームデリバリー京滋

＜配達エリア＞ 京都府南部 滋賀県南部・西部

京都府久世郡久御山町市田石橋3
 (0120) 50-8170 FAX (0774) 28-0319

監視社会お断り！ 共謀罪を廃止に

よつ葉ホームデリバリー (株)阪和産直センター

〒594-0073 大阪府和泉市和気町1-32-10
 ☎ 0725-46-2515 FAX 0725-46-2516

原発に頼らない社会を！

3.11を忘れるな！ 原発は今すぐ廃炉へ！

(株)産地直送センター
 箕面市西宿2-15-6 ☎ (072) 727-7780